

ニッポングループ生物多様性方針

<前文>

ニッポングループは経営理念の中で、「人々のウェルビーイング（幸せ・健康・笑顔）を追求し、持続可能な社会に貢献する」ことを掲げています。多岐に渡る原材料を取り扱い、様々な技術を用いて価値を創出する総合食品企業として、自然資本はビジネスに欠かせない要素の一つであり、バリューチェーンを通じて密接に関わっています。特に原材料となる幅広い農産物の生産は、自然の恵みを享受するとともに、生産そのものが自然に影響を与えるという相互関係にあります。

生物多様性は、その自然資本の状態を健全に保つ上で重要です。生物多様性の喪失はニッポングループにとって重大なリスクであり、ビジネスの持続性に直結します。例えば、原材料となる多種多様な農産物やその品種の豊かさは、自然が有する遺伝的な多様性なくしては成り立ちません。

ニッポングループは、このような認識にたち、以下の8つの考え方のもとで生物多様性の保全に主体的に取り組んでいきます。

<本文>

1. 気候変動対応と一体的に取り組む

水や大気などの自然資本は、気候と切り離して理解することができません。自然資本・生物多様性保全の推進にあたっては、相互の関係性を正しく認識して、互いに効果的になるように取り組みます。

2. 自然とビジネスとの関係を理解し、リスクと機会を適切に管理する

ニッポングループと関連するバリューチェーン上の事業活動について、自然への依存と影響を体系的に理解し、想定される自然関連のリスクと機会を特定し、自然と事業の持続可能性向上に努めます。

3. 生物多様性への影響に配慮した事業活動を推進する

2. の自然との関わりに対する深い理解をもとに、調達、生産、物流の各段階における活動を中心とした事業活動全般およびバリューチェーンを通じて、自然に対する負荷を軽減します。また、新たな技術や商品の開発を通じて、自然の回復、再生に貢献する事業機会の創出に努めます。

4. 循環型社会の実現に貢献する

水資源の保全や効率的な利用および廃棄物の削減、再利用を通じて資源を有効に活用します。また、多種多様な原材料となる農産物の機能や特性を生かした技術開発を通じて有限な資源の価値を高めます。

5. 原材料調達の持続可能性を高める

持続可能な社会の実現に向けて、共に価値を創出していくパートナーであるサプライヤーや行政、顧客を含むステークホルダーの皆様との対話と連携を通じて、生物多様性に配慮した原材料の調達体制の構築をすすめることで、サプライチェーン全体の持続可能性を高めます。

6. 法令の遵守と国際協調を通じて自然の保全に貢献する

国内外の関係法令の遵守だけでなく、国際枠組みやイニシアティブに参画し、課題の共有や意見交換を通じて、グローバルな視点で自然の保全に貢献します。

7. 従業員意識向上のための取り組みを行う

ニッポングループからみた生物多様性の重要性について、従業員が関心と実感をもち、自らが目指す姿を理解できるよう、教育体制の充実や保全活動への参加推進など、継続的な取り組みを行います。

8. 地域コミュニティと協働する

ニッポングループが関連する地域の自然の保全、回復に向けて、地域のステークホルダーの皆様とともに協働します。

2025 年 5 月 23 日制定